

提案日 平成 29 年 8 月 2 日

RDUF 小委員会テーマ提案書

1. 目標 (小委員会区分)	1. 関係者間で利用可能な提言・標準等の作成を目指す
2. テーマ	データ管理計画(Data Management Plan: DMP)小委員会
3. 目的	<p>・研究実施の結果創出される研究データは、研究の成果物であると同時に、研究成果から導かれる知見・見解・結論を支持するための具体的な証拠であり、また後続研究者による利活用を通じて新たな研究につながりうる研究資産でもある。</p> <p>・こうした認識に立ち、研究データの適切な保管・管理・共有に資する目的で、いわゆる「データ管理計画 (DMP)」の研究現場への導入が図られている。具体的には、研究資金配分機関や研究実施機関において、研究者に対して作成・提出が求められ始めている。</p> <p>・しかしながら現在、関係者間で DMP についての共通した理解・認識が確立されているとは言えず、現状のまま制度的に導入を図ったとしても、実効性が見込まれないおそれがある。</p> <p>・以上のような背景に鑑み本小委員会では、DMP について共有可能な基本的考え方を整理すると共に、DMP が取り扱うべき内容について、共通項目及び分野・機関種別個別項目について要件化し、標準規格提言としてとりまとめる。なおその際、先行する国外事例について十分に検討し、既存の標準規格提言 (RDA Recommendation 等) へ適合させることも視野に入れる。</p>
4. 成果物	・データ管理計画についての標準規格提言
5. 成果のインパクト	<p>・DMP の導入を必要としている各種機関において、沿うべき標準規格として採用され、機関間の相互運用性や首尾一貫性が担保されることで、研究データの効果的な利活用に資する。</p> <p>・日本としての基本的な考え方を確立することで、国際的な相互運用性の担保に資する。</p>
6. 小委員会の活動計画	<p>・発足 10 月上旬</p> <p>・委員募集 10 月</p> <p>・第 1 回小委員会 10～11 月 (議題案)</p> <p>- 第 10 回 RDA 総会 (モントリオール) DMP 関連情報の共有</p> <p>- NIMS にて検討中の DMA 議論紹介</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- その他</li> <li>・小委員会実施 (2~3 回程度、ML や TV 会議なども活用して実施)</li> <li>・第 5 回小委員会 報告書取りまとめ 2018 年 5~6 月</li> <li>・RDUF 総会又は公開シンポジウムで発表</li> </ul>
7. 初期委員 (所属)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷藤幹子 (国立研究開発法人物質・材料研究機構 情報統合型材料開発部門 (MaDIS) 材料データプラットフォームセンター (DPFC) 副センター長)</li> <li>・小賀坂康志 (国立研究開発法人科学技術振興機構 知識基盤情報部 部長)</li> </ul>
8. その他	